

BPW Newsletter JAPAN

Official Newsletter of National Federation of Business and Professional Women's Clubs of JAPAN



2008.8.15
Vol.93

CONTENTS

- 日本 BPW 連合会 50 周年記念
国際シンポジウム開催報告
 - ・シンポジウム概要
 - ・下町浅草ツアー
 - ・各国からのお祝いメッセージ
- ブロック研究会開催速報
- メキシココンgress情報
 - ・コンgressプログラム
 - ・日本の取組み
 - 決議案提出
 - BPW-I 副会長へ立候補
- 韓国 40 周年会議情報
- 2008 年度第 1 回評議会
- BPW 北九州 20 周年集会
- 法人化設立準備委員会
- 編集後記

日本 BPW 連合会ニュースレター

発行人：黒崎伸子 広報委員会編集

日本 BPW 連合会 事務局

〒160-0023

東京都新宿区西新宿 3-5-12-116

TEL.03-3348-7644

FAX.03-3348-7648

E-mail: pub@bpw-japan.com

ホームページ URL

http://www.bpw-japan.com

日本 BPW 連合会・女性と仕事の未来館共催公開国際シンポジウム 「これからの働き方を考える～女性の視点で」開催報告

去る 2008 年 6 月 14 日、女性と仕事の未来館ホールに於いて日本 BPW 連合会 50 周年記念国際シンポジウムを開催いたしました。1958 年の設立時に比べて、女性が働くことが珍しくなくなった現代ですが、すべての領域での男女平等には程遠く、これからは、“ワーク・ライフ・バランス”という視点で女性の働き方を考えることが将来への鍵になると企画されたテーマでした。

開会にあたって、黒崎伸子連合会会長の挨拶の後、BPWI 会長チョンチャノック・ピラバン氏と衆議院議員森山真弓氏より祝辞をいただきました。第 1 部カントリーレポート「世界のワーキングウーマン現状報告」では、台湾・メキシコ・タイ・アメリカ・韓国・日本の代表が、各国の事情をパワーポイントなどを使って、わかりやすく説明して頂きました。これを受け、第 2 部パネルディスカッション「これからの働き方を考える～問題点と解決策を探る “Making a Difference through Leadership” (BPWI テーマ)」では名取はにわ氏 (元内閣府男女共同参画局長 BPW 東京クラブ) をコーディネーターに、チョンチャノック・ピラバン氏 (銀行副頭取、タイ)、リズ・バーナム氏 (会社経営、アメリカ)、鈴木 邦子氏 (女性農業問題研究者、BPW 米沢クラブ) の 3 名のパネリストに、それぞれの国や立場から働き方の問題点や解決策についてお話いただきました。

最後に平松昌子実行委員長より、このシンポジウムを通しての日本 BPW 連合会から、下記の 3 つのアクションが提案され、会場にて採択されました。

アクション1 ワーク・ライフ・バランスを進めよう。

アクション2 ポジティブ・アクションをもっと推進しよう。

アクション3 ネットワークを拡げよう。

閉会挨拶は女性と仕事の未来館事務局長河合諒二氏よりいただきました。シンポジウムに参加して下さったのは、森山真弓氏 (衆議院議員)、赤松良子氏 (元文部大臣)、古橋源六郎氏 (前内閣府男女共同参画会議議員) ご来賓 3 名のほか、BPW 会員 116 名 (うち元会員 12 名)、一般 51 名、海外からの BPW 会員 22 名など、総勢 200 名近くでした。

公開シンポジウムの後、会場内の別室にてマダム石島(株)のケータリングによる懇親会が行われました。シンポジウムからご参加の古橋源六郎氏の乾杯の音頭で始まり、途中、懇親会に駆けつけて下さった円より子氏 (衆議院議員) に挨拶を頂戴し、総勢 100 数名と共に海外ゲストとの交流、BPW 仲間との親交を温める貴重な時間を過ごすことができました。

連合会会員や友の会の会員などたくさんの方からご寄付をいただき、ありがとうございました。詳細は 50 周年記念誌にも掲載いたしますが、このニュースレターで少しでも早く、みなさまに概要をお知らせいたします。

シンポジウムの概要

第1部 カントリーレポート

「世界のワーキングウーマン」現状報告

台湾: ルー・シウ リエン閣下 (前台湾副総統 BPW 台湾会長) 歴史的に中国の儒教と日本の男尊女卑の影響を受けている。女の子が高等教育を受けるのは難しく、受けたとしても結婚後は夫には仕える。識字率は95%以上。女性の労働人口は増えたが、労働の内容は男女で違う。女性のサラリーは男性の74%。男は外、女は家庭を守るという思想がまだ続いている。BPWとして我々が行わなければいけない活動はたくさんあるが、男性の書いた歴史(his-stories)に女性の歴史(her-stories)を加えて、人間の歴史(human-stories)を作ろう。

タイ: ナファフェン・ベジャジバ氏 (BPWI 事務局長)

タイの女性と日本の女性のデータを比較すると、日本のような高齢化は見られない。また、労働人口比率を見ると日本人女性は50代がピークであるが、タイでは40代である。M字曲線もみられない。産休はほぼ日本と同じ期間であり、支給率と期間には違いがあるが、全体的な支給額はほぼ同じである。ただ、タイ人女性はあまりアピールをしないし、問題があっても上司に相談しないで我慢してしまうため、賃金アップを受けにくい。女性がもっと積極的に仕事の責任を負い、アピールをすることで、より働きやすい環境を作ることができるだろう。

メキシコ: メルセデス・ランゲル氏 (BPW メキシコ・ヤング会員) 今年大学を卒業したばかりのヤング会員が報告した。44.9%の女性は無給での家庭内労働。外で働く女性はハウスメイド、男性は家庭外の仕事を中心。男女の賃金格差が非常に大きい。女性が多く従事している職種は教育、芸術、医療関係、少ないのは技術系や理系の仕事。

アメリカ: リズ・ベーナム氏 (BPWI 副会長、アメリカ)

GEMは31/128位。女性は7割が仕事を持っている。賃金格差は男性100に対して女性は65。学歴は男女であり差はない。出生率は2.0だが産休の際の賃金補助はゼロ。ガラスの天井はまだ存在しているとアメリカ人女性は感じている。①男性の家事負担を増やす②フレックスタイムやSOHO、ジョブ・シェアリングなどを活用する③オペアを雇う④起業する、という4つの提案をしたい。

韓国: ユンヒョ・チョイ氏 (BPW 韓国会長) ユンミー・ファン氏 (BPWI ビジネスロード技術委員長) が報告予定だ

ったが、来日のため搭乗した機内で急に体調不良となり欠席。代理で BPW 韓国会長が登場した。ファン氏作成のスライドを上映しつつ、会長が挨拶。結婚や離婚に対する考え方や、WLB への高い興味、子どもの教育を海外で行うなど大きな変化が見られるが、男女間の賃金格差など、まだまだ改善を要する点もある。BPW KOREA 9月5日に40周年記念イベントを企画中。たくさんのメンバーの参加によりこれらを考える機会になることを期待している。

日本: 二ノ宮寛子氏 (日本BPW 連合会広報委員長) 日本の労働実態については、女性は男性と比べ、パートタイム労働者が多いなど、雇用形態の差がある。働く女性の半数は配偶者がいて、家事と仕事の両立をしている。しかし3歳児未満の保育サービス提供率は20.3%しかなく、男性の長時間労働による家事育児への参加の難しさから、育児世代の女性の離職は多い。公的機関、職場、働く人々が協働してワーク・ライフ・バランスに取り組むことで、男女共に人生を楽しむことができるような社会になる。



(カントリーレポート報告者:写真左から アメリカ・台湾・黒崎会長・タイ・韓国・メキシコ・日本)



(会場の様子)

第2部 パネルディスカッション

コーディネーター:名取はにわ氏

パネリストの発言要旨:

チャンチャノック・ピラバン氏 (BPWI 会長、銀行副頭取): 女性が企業のトップに入ると幹部に女性を起用できる。

女性がリーダーシップを持つことによって効果をもたらすことができる。女性が国際的なレベルにおいても、BPW は国連の場においても、61 年前から活動しており、女性の地位向上のための色々なものを促進していくことに大きな力を発揮している。国連女性の地位委員会では、Esther Hymer 氏は大きな役割を担い、Helvi Sipila 氏は、BPW として国連の中で平和活動をしてきた。あらゆるレベルで意識がかわってきた。たとえば、女性のエンパワーメントでは識字率の向上、マイクロクレジットがある。キャリアガイダンスが BPW 韓国では行われており、BPW ニュージーランドでは、暴力に対するフレキシブルな活動を、BPW ドイツでは賃金差を解消してきた。世界の歴史において、BPW は大きな力をもっている。世界中の BPW 会員が女性を助けている。

リズ・ペーナム氏: (会社経営、BPWI 副会長-国連担当、アメリカ) “Making Difference Through Leadership” (BPWI のテーマ)女性が重用されると急速に世界が変わる。今までとは違うリーダーシップが必要である。リーダーシップを発揮し、組織を変革、魅力を増すようにしないといけない。人の才能(タレント)を生かす。人材こそがすべてである。組織を維持するにもリーダーシップが必要。緩やかで、オープンでイノベティブでなければならない。将来のためオープンなコミュニケーションが必要。競争が激化する中では新しい知識を共有しなければならない。組織においては、メンバーが自信をもてるように、いい気分させることが重要であり、全ての女性の中から人材を選んでいくことが必要である。変わっているユニークな部分を生かす。若い人を大切に、尊重する。リーダーシップを発揮するチャンスを与える。上からの命令形式にはサヨナラしないといけない。全てのことを一人でするのではなく、人をつなげようとしなくてはならない。リーダーは信頼感を示し、価値観を示す。後進をリーダーに育てていく。ネットワークをつくる。全ての人を活動に関与させていく。それが世界における新しいリーダーシップのスタイルである。

鈴木邦子氏: (女性農業問題研究者、米沢クラブ会員)山形県庁で20年勤続。女性農業者の問題を研究している。農業では就業者が減少、急速な高齢化となっている。日本の農業における女性の割合は 30%である。農業委員会や農協などの女性の参画状況をみるとまだまだである。女性農業者の制度上の位置づけをなんとかし

なくてはならない。

農業に従事する女性は、まず報酬がない、借り入れもできない、役職にもつけない、介護しても報われないという立場におかれている。女性農業者のネットワーク活動などの人材育成の重要性を感じている。



(発言者写真:左上から時計周りに コーディネーター名取はにわ氏・
チョンチャノック氏・鈴木氏・ペーナム氏)

会場からの質問:ワーク・ライフ・バランスに男性の協力が得られるか?

ノック:得られない場合は、デイケアセンターの利用が考えられる。デイケアセンターが安いと、女性は働きやすくなる。

リズ:訴えることが大切である。仕事も子育てもエンjoyできるように必要なことは周囲に訴えていこう。

鈴木:農村のワーク・ライフ・バランスの意識を変えていかなければならない。農業における子育て支援に力を入れる。

名取:BPW は女性が働きやすくなるように、意識をかえることをしてきたが、具体的には何をしてきたのか?

ノック:ニュージーランドがもっともそういう活動をしてきた。長期に有給で休みながら子どもを育てる。中小企業においては、少人数で経営者も女性が担っていることが多い。影響を与えることを考えないといけない。

名取:リズさんは、経営者としてどのようにしてきたのか?

リズ:家でまず求めること。BPW のパートナーとして夫たちが学ぶ。そして他の夫たちに影響を与える。まず家庭

から変化を起こすことができる。

名取:鈴木さん、農業ではどうですか？

鈴木:農業では生活との区別がつかない。家事労働も労働時間に加えることが必要。

名取:ドイツから日本へ留学してきている女性に、ドイツの現状について聞いてみます。会場からドイツ人女性 Phoebe Holdgruen 氏 (フェーベ・ホルドグリューン氏) が登場。



ホルドグリューン氏: (ドイツ-日本研究所研究員で、今、日本の自治体における男女共同参画政策について研究をしている。) ドイツは GEM9 位であり、女性の 60%が働いている。教育の場面で女性は結構進んでいる: 高校卒業する学生の 55.5%は女性、成績は男性の成績より少し良く、大学生の 53.7%は女性。博士過程を卒業する女性、教授になる女性も増えている (38%)。しかし、子育て世代の女性はパートタイムが多い。女性の平均的な給料は男性の給料より 23%低い。指導的地位で働いている女性は少ない。けれども、メルケル氏が 2005 年に首相になってから、新しい家族政策もスタートした。その政策の中で 2007 年から新しい育児手当が実施し、一番最近の家庭省データによると、育児手当いわゆる育児休暇に申請する父親の比率は以前の 3.5%から 18.5%になった。それからこれから保育園の拡大もあるだろうである。これからはドイツのワーク・ライフ・バランスにおいていろいろ変化があるだろう。

名取:最後に一言ずつお願いします。

鈴木:農業においては女性が高く評価されるようになってきた。直接販売するようになり、自分の収入を得るようになった。

リズ:国連において、65 年前から女性問題を扱ってきた。リーダーシップについて、失敗を恐れない。指導者は失敗を経験することも大切。

ノック:リーダーになりたい人、変革をもたらしたい人に伝えたいこと。まずは、有言実行。金がない、人材がいない、時間がない、言い訳はいらない。今出来ることをちょっとの勇気と温かい心でやること。

シンポジウムの最後に、メキシコのヤング会員 2 名より、10 月開催のコンgressの PR も行われた。

下町浅草ツアー

東京クラブ副会長・財務委員長 土田アイ子

14 日のメイン会合とともに 15 日の下町浅草ツアーの大成功も重要なテーマと自覚し取り組みました。14 日当日は参加者の掌握が懇親会終了時にまとまるというバタバタ状態でしたが、参加された方には喜んでいただけたと確信しています。海外参加者には、ノック会長、リズ副会長は平松先輩が張り付き・メキシコ組は青柳さん・台湾は寺岡さん・韓国は土田・東京クラブの鬼塚さん・柳下さんはもろもろ随行お世話担当、そして長崎の柴田さん・福岡の大賀さん・更に会員外にも関わらず参加していただいた NGO 国内委員会の飯田さん・・・暑いなか歩いていただき本当に感謝です。会食会場はお刺身とお寿司をおそばに変えていただくハプニングもちょっとありましたが、皆さんおいしく召し上がっていただけたと思います。更にお食事前に、地元台東区の小菅千保子区議と浅草おかみさん会の富永会長がぜひあいさつをされたいと見えられ、地域の振興、商売繁盛に女の智慧と力が発揮されていることを、威勢良く語っていただきました。食事をしながら交流と懇親が出来ましたこと、本当に良かったと思います。

浅草ツアーは、ノック会長 (当時副会長) がサブリージョナルにお見えになったおりに、「今度来日した時はぜひ浅草に」、とおっしゃっていたことから実現できてよかった・・・とほっとしています。たくさんの皆様のご協力で終わることが出来、このツアーがまた新しい交流の始まりになったと確信しています。韓国の 40 周年の参加も強く求められましたし、台湾とも交流をとのお話があり、メキシコの若い二人からは「メキシコで待っています」とのスピーチがありました。



各国からのお祝いメッセージ

「BPWUK を代表して、日本 BPW 連合会 50 周年をお祝い申し上げます。招待状をありがとうございました。国内の会員にも知らせました。当日アメリカで休暇中のため

参加することができませんが、盛会と今後のご発展をお祈りしております。」BPWUK 会長 Nikki Bennett・Willets 氏より

「50 周年の祝賀行事に参加することができませんが、当日の盛会をお祈りしております。」BPWI 企画委員長 Susan M. Jones 氏 (BPWAustralia 所属) より

「日本 BPW 連合会の 50 周年イベントへのご招待、ありがとうございます。BPWI の歴史にとっても大切であるイベントをぜひ共有させていただきたかったのですが、同時期にエジプトで開催されるアフリカンサミット (アフリカの全首脳が一堂に会する会議) において BPW エジプトは『アフリカにおける女性エンパワーメント』というプレ・サミットを企画しているため、叶わなくなりました。日本の皆様へどうぞよろしくお伝えください。そして、他のイベントで皆様がカイロへいらっしゃることを楽しみにしております。」BPWEgypt 会長 Amany Asfour 氏より

「おめでとうございます！50 周年とは素晴らしいですね。皆様、そして皆様の先輩の方々は大変なご苦勞の末、この組織を立ち上げ、発展させ、女性たちのモデルとして勇気付けて来られました。この活動が日本における女性運動のパイオニアとなってきたのです。我々の組織の最前線でこれからも素晴らしいご成功を願います。当日のイベントが盛会となることをお祈りしております。皆様にどうぞよろしくお伝えください。」BPWI アジアパシフィック・リージョナル・コーディネーター Ambica Shrestha 氏 (BPWNepal) より



(写真上から 懇親会風景①～④ ①古橋源六郎氏のスピーチ
②乾杯！③円より子氏スピーチ④メキシコへの渡航費サポート授与
⑤森山真弓氏挨拶⑥平松昌子実行委員長⑦司会遊佐副会長)

ブロック研究会開催速報

5 月 17 日に関東・山梨ブロック (担当: 山梨クラブ) にて、7 月 12 日に中部ブロック (担当: 東海クラブ) にて開催されました。

関東・山梨ブロックでは「新しいリーダーをめざして～国際医療援助活動などから～」というテーマで、一般 19 名を含む 41 名が参加し、国境なき医師団の外科医としても活躍する黒崎伸子連合会会長の派遣先での援助活動と昨年の国連総会に政府代表顧問として参加した体験についての講演がありました。中部ブロックでは、「リーダーに『女性』は必要か～性差別の社会実現のために～」と題して、名古屋市議会議員 梅村邦子氏のお話を聞きました。いずれも充実した会合との報告がありました。

今後の開催予定は以下の通りです。

開催日時・会場	内容
近畿 (京都) 9 月 28 日 (日) 京都タワーホテル	今、求められるリーダーとは？～ プロフェッションの活用～ 講師: 黒崎伸子
北海道・東北 (米沢) 11 月 1 日 (土) 14:00 伝国の杜	『天地人の里の人たち～のびやかに 生きられる 10 年後をめざして～』 講師
西日本 (香川) 11 月 29 日 (土) サンポートホール/高松	”新しいリーダー像を語る“ ～国際的 NGO 活動を通じて～ 講師: 岡内 黒崎伸子





メキシコ・コンgress情報

プログラムの詳細が発表されました。6月24日で早期登録割引は終了しましたが、できるだけ多くの方にご参加頂きたいと思います。お問合せは次のメールアドレスまでどうぞ。office@bpw-japan.com

第26回BPWI コンgressプログラム

会場: Gran Melia Mexico Reforma Hotel/メキシコシティ

2008年10月24日(金)	
8:30-10:00	開会式
10:00-10:30	休憩※
10:30-11:30	各地域会議
11:30-13:00	BPWI 提案 決議案ワークショップ・規約改正ワークショップ
13:00-14:30	ランチ※
14:30-16:00	役員会
16:30-21:00	BPW フレンズ&フェローパーティ

10月25日(土)	
9:00-10:30	全体会議*: “変化をもたらす女性の力～リーダーシップによって～”
11:00-12:30	ビジネスセッション***: 役員報告 *** 並行セッション WS1: コミュニケーションとリーダーシップ WS2: 全世代の女性の成功のためのメンタリング WS3: 意思決定の場における男女の平等な参加 追加 WS: 女性と ICT
14:00-15:30	ビジネスセッション: 報告・決議案 並行セッション WS1: 富の創造と女性 CEO WS2: 女性の経済的エンパワーメントと企業の社会的責任(CSR) WS3: 証言-ワーク・ライフ・バランスの成功 追加 WS: 証言-個人啓発プログラム IDP-リーダーシップ訓練
16:00-17:30	WS1(ヤング): 異文化コミュニケーションと WINWIN 交渉術 WS2: 女性の経済的エンパワーメント権利拡大-機会均等 WS3: 男女賃金格差の終結 追加 WS: 2005-2008 テーマの成功実践例 “New Dimensions of Leadership” 並行セッション
19:00-23:00	ヤング BPW night out

10月26日(日)	
9:00-10:30	全体会議: “変化をもたらす女性の力～行動によって～”
11:00-12:30	ビジネスセッション: 報告・規約改正 並行セッション WS1: 紛争解決と相乗効果の創設 WS2: 女性相互援助の成功の戦略 WS3: 国連における女性の地位向上へのアドボカシー 追加 WS: 女性と健康-有効な成果をもたらすには?
14:00-15:30	全体会議: レガシー・フォーラム-女性成功者との対談

10月26日(日)	
16:00-17:30	ビジネスセッション: 報告・規約改正 並行セッション WS1: 女性重役の能力開発 WS2: 女性の能力開発のための成功戦略 WS3: 女性重役増加による投資収益 ヤング BPW: Y 世代-リーダーシップにおける ICT の役割
19:30-23:00	ガラ・ディナー

10月27日(月)	
9:00-10:30	全体会議: “変化をもたらす女性の力～アドボカシーによって～”
11:00-12:30	ビジネスセッション: 決議 並行セッション WS1: 独創的マーケティングと経営戦略 WS2: 女性のための e-ビジネス-繁栄への道 WS3: 女性に対する暴力反対の声を 追加 WS: ビジネスの育成-方針と有効な実施策
14:00-15:30	ビジネスセッション: 規約改正・会長候補者演説 並行セッション WS1: 失敗に打ち勝つ方法 WS2: “Power to Make a Difference 変化をもたらす力”(2008-2011 テーマ)のブレインストーム戦略 WS3: 家庭+キャリア? 家庭+キャリア!! 追加 WS: 外国への移動? - 外国勤務での障害克服
16:00-17:30	WS1: 業績評価における差別の克服 WS2: BPW プロジェクトによって変化を WS3: 女性のビジネスと環境への責任 ヤング BPW-WS: ヤング BPW プロジェクト-ベストの実践 追加 WS: 平和-リーダーシップの重要な一面 並行セッション

10月28日(火)	
9:00-10:30	全体会議: BPW と国連
11:00-12:30	ビジネスセッション: 選挙
14:00-15:30	ビジネスセッション: 2014 年コンgress開催地-投票、ワークショップ要約、新役員紹介、閉会式
16:00-17:30	役員会: 2008-2011 の会員サービス担当者の検討
19:30-23:00	フェアウェル・パーティ

(プログラム注釈)

注1) * 全体会議: BPWI に所属する会員すべて (登録した随行者) が参加して討論・議論する会議。

注2) ** ビジネスセッション: 各国の代表 (議決権をもつ) が参加して議論をする会議。議決権のない参加者は傍聴はできる。

注3) *** 並行セッション: 最終日以外は、ビジネスセッションは他のワークショップと並行して (同じ時間帯) に御行われるために、代表及び代表代理はワークショップに参加できない。

注4) * 25 日～28 日の期間、休憩は 10:30～11:00 および 15:30～16:00 で、ランチは 12:30～14:00。

参考 URL:

<http://www.bpw-international.org/XXVI-congress/about-congress-program.htm>

日本 BPW 連合会からメキシコ・コンGRESSへ

連合会会長 黒崎伸子

◎ 二つの決議案を提出! …今年 3 月、コンGRESSに提出したい決議案内容などを全国の各クラブに問合せをしたところ、特に提案はなかった。その後、役員で検討した結果、以下の2題をコンGRESS決議委員会に提出した。これらを含め、メキシココンGRESSで討議される決議案として取り上げられたのは 24 題である。コンGRESS準備委員によって翻訳された全部の決議案と規約および細則改正案は全国のクラブに送信済であるが、日本から提案した決議案の一部を紹介する。

《ジェンダー平等のための予算措置の要請》

提案理由: あらゆる活動、運動についての基礎的・根本的基盤は予算であり、予算の最大融資源は政府である。女性の権限強化に対応すべく、また、人権を有することができない現況から女性を解放すべく、ジェンダー平等のために分配すべき予算額を認識することは非常に重要である。以上の理由から、総予算額を分析し、公にし、そして翌年度予算の改善に互いに協力すべきである。

履行: 各連盟は、ジェンダーに関する項目、総額についての国家予算、また、政府がジェンダーに関する予算として割り当てた事項につき調査するものとする。このような活動によって、政府、公的機関による弁明がなされるであろう。各連盟は、他の連盟間で意見、情報交換の後、予算の増額、項目の修正を提案するものとする。ODA によるジェンダー平等に関する予算の分析もこれに含まれるものとする。

《地球環境変化への先導的役割》

提案理由: さまざまな会議・政府間協議において、地球温暖化による気候変動への対策の重要性・緊急性が唱えられているが、各国の利害や視点の差異があるために、具体的な行動についての合意決議に至っていない。家族の生活ケアの主な責任者である女性は、この問題に敏感であり、地域社会での行動の先導的役割を担える。BPW は協働して、この問題に対応すべきである。

履行: 行動の最終目標は、各クラブで設定し、連合会ではそれらを集約し、年間評価をすべきである。地域社会においても、BPW は会員は、環境問題について分析・提案を行うべきである。

◎ BPW-International 副会長へ候補者推薦

決議案・規約改正案などと同様に、各クラブに日本から BPW-I 役員への立候補・推薦の提案を問合せた。みなさんの意見をもとに、役員で検討した結果、平松昌子・前連合会会長が BPW-I 副会長に立候補することになった。

平松前会長は、2 期前には BPWI の環境委員会委員長を務めた経験があり、2002 年からは毎年、国連女性の地位委員会に出席して、BPWI 関係者との親交も深い。さらに、世界でも高齢化の進んでいる日本社会での体験が、BPW 内での高齢化や各国の人口構成の変化がうむ課題の解決に貢献できると、訴えての立候補を決意した。

二つのポストしかない副会長には、他に 4 人が立候補*しており、厳しい選挙選が予想される。日本から、ぜひ、多く参加してもらって、平松さんの応援をお願いしたい。

*他の副会長候補

Amany Asfour (エジプト): アフリカ地域コーディネーター

Freda Miriklis (オーストラリア): BPWI 役員会書記

Gabriella Canonica(スイス): ヨーロッパ地域コーディネーター

Maria Inez Garcia Bunning (ブラジル):

ラテンアメリカ (スペイン語圏) 地域コーディネーター

韓国 40 周年会議情報

BPWKorea では、9 月 5 日に 40 周年記念イベントが開催される予定です。我々の 50 周年には多数の参加をしていただきました。日本からもぜひお祝いの気持ちを込めて多数の参加をお願いいたします。詳細情報が入り次第連合会 HP の「最新情報」に載せますのでご覧ください。

BPW 北九州クラブ 20 周年集会**2008 年度第 1 回評議会議事録**

2008 年 6 月 15 日 1～5PM

八重洲ホール 302 号室

役員 7 名、クラブ 会長他 21 名

議題および討議結果 (概要)

①2008 年度の中心となる活動

福岡大会で承認された方針に

14 日開催の 50 周年記念シンポジウムでの採択宣言を追加

アクション 1 ワーク・ライフ・バランスを進めよう**2 ポジティブ・アクションをもっと推進しよう****3 ネットワークを拡げよう****②常任委員会活動計画**

福岡大会で承認された各委員会のサブテーマそれぞれの具体的な活動計画を承認。

※各ブロック研究会企画書提出の依頼。

※スピーチコンテストマニュアル配布予定

③50 周年記念事業について・50 周年記念シンポジウム報告
・今後は 50 周年記念誌編集 (2009 年 3 月発行予定)**④メキシココンgres準備について**

・日本の対応一決議案提出、役員候補者推薦。今後決議案・規約改正案に対応

⑤第 5 回 CSW インターン派遣事業報告及び次回募集…第 6 回募集の呼びかけに協力を!**⑥現在の財政状況報告…全クラブの年会費納入済****⑦法人化検討について**・各クラブアンケート集計結果報告
・連合会執行部方針「NPO 法人を選択。その後、さらに認定 NPO をめざす」の説明後、意見交換
・執行部提案の採決;賛成 25・反対 0・保留 1

⇒法人設立準備委員会設置を承認 (8p 参照)

⑧その他…組織拡大について

7 月 13 日 (日) 北九州市男女共同参画センター「ムーブ」で、BPW 北九州クラブの 20 周年の集いが開催されました。北九州の麻田美穂子・副市長は、均等法制定時に赤松良子さんの部下として労働省で働かれた方で、BPW は、当時、女性保護規定 (女性の深夜業務禁止など) の撤廃に唯一反対した団体として印象に残っていることを祝辞のなかで紹介下さいました。設立にご尽力下さったのは、高橋久子・元連合会会長 (門司出身) と山口信子・元福岡クラブ会長ということで、代表して山口さんがご挨拶をされました。連合会からは会長・黒崎も出席。BPW には非常に珍しい軟派のカラオケを人生の楽しみにしている方々のパフォーマンスのあと、姑の介護を契機に、念願のシャンソンを勉強して 40 代でデビューした素敵な女性 TAKAKO さんの歌に酔った午後でした。

**NPO 法人設立準備委員会**

2008 年 8 月 3 日に連合会事務局にて委員会発足。法人化の必要性、メリット・デメリット、連合会との組織関係、設立年月日、内部体制、設立費用などについて審議します。

委員長:塩崎智子 (連合会副会長・法人化検討委員長より留任)

委員:今田小百合 (山形)、佐藤わか子 (仙台)、深沢公子 (山梨)、大串祐子 (長崎)、鶴田雅子 (連合会事務局)、藤田ひろみ (連合会会計)、塩崎智子 (連合会副会長)

アドバイザー:安陪陽子 (東京)、名取はにわ (東京)、

黒崎伸子 (連合会会長)

各クラブには評議会における審議・決定事項のお知らせを報告しましたが、今後も、NPO 法人に関する情報を適宜提供する予定です。8 月 3 日の委員会では、より具体的な NPO 法人設立に関する原案を作成し、各クラブにおいて審議できるように準備します。9 月 7 日 (日) 開催する臨時評議会で、次回総会で検討する案を決議する予定でしたが、非常に重要な問題であるために、9 月以降に各クラブ内で十分に検討して頂くことになりました。総会提案の最終的決定は 2009 年 1 月評議会になります。

<編集後記>

7 月中に発行予定でしたが、諸事情により遅れてしまいました。当日東北地方での大地震もあり、やむなく欠席された方々へ 50 周年記念事業をできるだけ早くご報告したいと思っておりました。少しでも雰囲気が伝われば幸いです。
(二)